

「国語教科書のなかの名作—明治大正昭和期の作家と文学—」展示資料一覧

例)

番号	書影	著者名
		書名
		出版年
		出版社

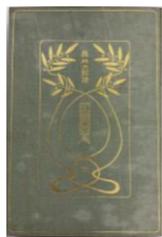
1. 夏目漱石の世界—『坊っちゃん』
「夢十夜」 『こころ』

1		夏目漱石
		『こころ』
		大正3(1914)年
		岩波書店
2		夏目漱石
		『明暗』
		大正6(1917)年
		岩波書店

3. 芥川龍之介の世界—「羅生門」
「トロッコ」 「地獄変」

5		芥川龍之介
		『羅生門』
		大正6(1917)年
		阿蘭陀書房
6		芥川龍之介
		『傀儡師』
		大正12(1923)年
		新潮社

2. 森鷗外の世界—「舞姫」 「高瀬舟」
「最後の一句」

3		森鷗外
		『即興詩人 上』
		明治35(1902)年
		春陽堂
4		森鷗外
		『即興詩人 下』
		明治35(1902)年
		春陽堂

4. 鈴木三重吉と『赤い鳥』の世界—国語
教科書のなかの児童文学

7		複製赤い鳥の本(第1冊～15冊) 解説赤い鳥の本
		昭和44(1969)年
		ほるぷ出版
8		「赤い鳥」童謡(第一集～第八集)
		昭和44(1969)年
		ほるぷ出版
9		鈴木三重吉主幹
		赤い鳥
		大正7(1918)年
		日本近代文学館

5. 与謝野源氏と谷崎源氏の世界-『源氏物語』と現代語訳

10		与謝野晶子
		『新訳源氏物語』(上巻、中巻、下巻1、下巻2)
		大正1(1912)～大正2(1913)年
		金尾文淵堂
11		与謝野晶子
		『新新訳源氏物語』(1巻～6巻)
		昭和13(1938)～昭和14(1939)年
		金尾文淵堂
12		谷崎潤一郎
		『潤一郎訳源氏物語』(全26巻)
		昭和14(1939)～昭和16(1941)年
		中央公論社
13		谷崎潤一郎
		『潤一郎新訳源氏物語』(全12巻)
		昭和26(1951)～昭和29(1954)年
		中央公論社

